

2026年5月20日(水) 第7限

2年進路講演会

『希望進路実現のために、高2の今から、ここから、始めるべきこと』

リクルート 山内恵介氏

2年生を対象に進路講演会を開催しました。リクルート「スタディサプリ」で数学・探究講師を務めていらっしゃる山内先生の熱い口調に引き込まれ、1時間があっという間でした。

なかでも、「インプットとアウトプット」の話が感想でも多く取り上げられていました。最終的にテストや入試で「アウトプット」できるようにするためにも「インプット」が大切であるということや、授業をただ『聞く』のと『受ける』のとでは全く違うのだと学びました。

例年、2年生の秋に実施していた講演会ですが、2年生のもっと早い段階からもう一段ギアを上げて欲しい、という願いを込めて実施しました。その日の帰りから、「自習室行こう!」「スタサプ見てみる!」という声も聞こえてきました。

今回の講話は、改めて進路目標や、自分の毎日の授業に向かう姿勢を見直すよい機会となりました。

【生徒の感想】

- ・ただ先生の話聞いてなんとなくノートに書くのではなく、先生がどんな意図をもっているのかということや、なぜ?どうして?などの疑問を常に考えながら授業に取り組みたいと思いました。
- ・今回の講話を聞いて、最初に「知らないことがあっても他責にしない」という言葉がとても印象に残りました。授業で聞いていないことが出てきたとき、私はよく「え、これ聞いてない」と自分で気付かないうちに他の人のせいにしていたのだと気付きました。しかし今回の講話のおかげで、先生も限られた時間の中だと伝えきれないことも多いので、私とその先を自ら知りに行くことが大切だと学びました。
- ・私は「学力」とは「人から学ぶ力」であり、それを発揮するためには、「自分が主役である」と知るべきなのだと思いました。
- ・インプット、アウトプットの質を上げるために、高め合える友人や同じ志をもった人と関わっていきたくて、未来を変えるのは自分にしかできないことだから、何かアクションを起こして未来を変えていきます。



山内先生、貴重なご講演をいただき

ありがとうございました。